

# 被害農家の救済急げ

## 生茶葉から放射性物質検出

### 現地調査踏まえ知事に要望

川 奈 神 党  
団 議 県

公明党神奈川県議団 岩祐治知事に会い、「足書」を提出した。  
(鈴木秀志団長) は19 柄茶の放射性セシウム 同県では、足柄茶の  
日、神奈川県庁内で黒 検出に伴う緊急要望 生茶葉から食品衛生法

上の暫定規制値を上回る放射性セシウムが、南足柄市など6市町村で相次ぎ検出され、県からの要請に従って出荷を自粛している。事態を重く見た同県議団は17日、南足柄市など被害に遭った生産現場を訪れ、生産農家ら関係者から実情を聞くなど被害の実態を詳しく調査した。席上、鈴木団長は「年間収入の6〜8割を占める一番茶の出荷を止められた生産者は、出口の見えない苦境に立たされている」と指摘。その上で、①生産農家



黒岩知事(右から4人目)に要望書を手渡す  
党神奈川県議団

への迅速かつ十分な補償②県が放射性物質の測定を茶園地または生産組合ごとに行い、規

制値以下なら出荷の自粛を解く③汚染のメカニズムを徹底的に解明④部局横断的な対策チームを編成する⑤県独自の調査に基づき早期に安全宣言を出す⑥の5項目について早急を実現するよう強く求めた。

これに対し、黒岩知事は「要望内容をしっかり受け止め、できる限りのことを行いたい」と述べた。